



(損保版)

第1〜4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪府西区本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2019

Shinnihon Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
Kinglear
2019年10月7日 AMまで
※偶数月の第一月曜日正午ごとに変更

「Dive Inフェスティバル」開催

AIGジャパンなど7社

ダイバーシティとインクルージョンをテーマに



田中氏



松元氏

三井住友海上からは同社所属のパラアスリート選手である田中司さんが、あいおいニッセイ同和損保からは福岡支店に勤務する松元卓巳さんが、自身の持つ障がいと向き合い方などについてスピーチした。
高校野球で甲子園を目指していた田中さんは、視覚障がいの進行が徐々に早まり、野球を断念。スポーツをあきらめきれずに、人づてに相撲の世界に転じ、時津風部屋に入門するも、ますます低下する視力に加えて突発性難聴も発症。わずか1年で引退を余儀なくされた。

田中選手らがセッションに
三井住友海上所属などの
パラアスリート

分の信じた道」。自分が道を作れば、障がいを持つ(後援もそれに続く)ことができるかもしれないと田中さんは言う。同時に、周りの協力なくして今の環境はないとも話し、仕事面でも競技面でも、周囲の理解に感謝の気持ちを示した。
生まれつき聴覚障がいがある先天性高度難聴だった松元さんは、小学3年生のときから健常者とともにサッカーをプレイ。高校では全国的に有名なサッカーの名門である鹿児島実業高校に進学した。

デフサッカーとの出会いは、同高在学中に、「ろう者サッカー協会」の関係者に誘われたことがきっかけだった。すぐに頭角を現して日本代表入りを果たした。自身としては4年に一度開催される聴覚障がい者の国際総合競技大会であるデフリンピック日本代表に3度、選出された。
2016年6月から、あいおいニッセイ同和損保に入社。勤務先の福岡支店では、保険料の試算や保険企画策定などで営業社員をサポート。2021年デフリンピックで

寄付講座「保険論」を開催

大阪経済法科大学で15講座



パネルディスカッションの様子

9月9日から13日までの5日間、大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス(大阪府八尾市)で、学生向けの寄付講座「保険論」(大学コンソーシアム大阪提供)が、15講座が実施された。この講座には、保険会社から東京海上日動三井住友海上、損保ジャパン日本興亜の3社、代理店では(株)ウィンライフ、

9月12日の第12講座は、「自動運転と保険」をテーマにした基調講演をおよびパネルディスカッションが行われた。基調講演では、(株)ウィンライフの小野力藤井支店長が演壇に立った。同氏は、自動車の運転に必要なスキルを聴きながら、ふと忘却の彼方話があった言葉思い出した。「物象」

春秋

ラジオを聴いていたら経営者が語るコーナーがあった。その日の言葉は「社員一人ひとりが弊社の商品であり、サービスである」というものであった。「人材」ではなく「人財」という捉え方で、教育への投資によって社員の成長を重視している点を強調している。今の時代、こうした経営方針は優れたものとして受け入れられ、聞き手のMCが絶賛していたことはそれを如実に表しており、実際、その会社の業績は好調であるようだ。

「人財」と「人生」

だから、資本主義への批判の意味が込められているのは間違いないところだろう。
決して、「資本主義対共産主義」のような枠組みで捉えようとしていくわけではない。今の中国をみれば、デジタル化を通じて、もっと激しい

全国民の「物象化」が生じている。問題は、「人財」として扱われる社員「の人生は本当に幸せなものだろうか」という点だ。日々の仕事には「ドリビリ」とした緊張感が漂っているだろう。様々な資格を取ることが要求され、休みの日に勉強に追われることも多いだろう。
経営者から見れば、社員は商品、サービスとしての「人財」であっても、社員一人ひとりは仕事以外の様々な人生を抱える人間だ。経営者による「物象化」はあえていえるは当然の流れだろう。しかし、それは絶対的価値ではなく、相対的なものに過ぎないというスタンスが大切なのではないだろうか。(知定)

のモデルを目標に競技と仕事の両立に努めている。アスリート社員として活動することの意義について松元さんは「皆さんに刺激を与える存在になれるほか、デフサッカーや会社のことを知ってもらう機会が増える」と話した。

17日から、8歳以上であれば何歳でも加入できるペット保険「どうぶつ健保」にあの販売を開始した。「どうぶつ健保」には、これまでペット保険に新規加入できなかった高齢の犬猫が加入

できる日本初の商品。同商品は、入院と手術にかかる費用の一部(70%プラン、50%プラン)が補償され、同社の対応病院で利用することができ、手術1回あたり最高10万円、年2回限度)から加入することができる。

お知らせ
次週9月30日は第5月曜日となりますので、本紙の発行はありません。

消費税増税に伴う料金改定のお知らせ
消費税引上げにより、2019年10月より購読料を毎月2,200円に変更いたします。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。